

コロナ禍における宗教者による災害の備え

「特別な配慮が必要とされる人々」への支援

オンライン学習会

2021年6月15日（火）14：30～17：00

新型コロナウイルスは、世界中の人々の生命や生活を脅かしております。終息が見えない感染の蔓延は、医療体制の切迫化、経済・雇用の不安定化、そして人々の分断や孤立を招いております。

特に、コロナ禍において、より深刻な状況におかれています。野宿者や障がい者、高齢者、子供、妊産婦等の「特別な配慮が必要とされる人々」です。災害時、宗教者はこうした方々に対して、特に注視し支援活動を行なってきました。WCRP日本委員会も東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨、台風災害等における取り組みを実施してきました。しかしながら、必ずしも十分に配慮が行き届かず、様々な課題に直面してまいりました。

この度の学習会では、「特別な配慮を必要とされる方々」への支援のあり方を、これまでの宗教者の災害対応を振り返り、また現在、懸命に実施されている支援活動の実際を学びながら、コロナ禍における「特別な配慮が必要とされる人々」に対する宗教者の災害支援について学び合いたいと思います。



基調発題「“災害弱者”への支援の壁」

ひがし とし ひろ
東 俊裕 氏

被災地障害者センターくまもと事務局長・熊本学園
大学教授・元WCRP熊本おうえんプロジェクト委員

プログラム詳細、参加登録については、本チラシ『裏面』をご覧ください。

（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会
災害対応タスクフォース

プログラム 総合司会：田中佑佳子（WCRP日本委員会女性部会事務局長）
(敬称略)

14：30 平和の祈り
開会挨拶 黒住宗道（黒住教教主）

14：40 基調発題「“災害弱者”への支援の壁」
東 俊裕（被災地障害者センターくまもと事務局長／熊本学園大学教授、
WCRP熊本おうえんプロジェクト委員）

15：20 災害現場からの声
伊東久美子（就労移行支援事業ワークセンター麦園長／福島県須賀川市）

15：45 コロナ禍における宗教者の野宿者支援
「川崎水曜パトロールの活動について」
小林恵太（カトリックアトメントのフランシスコ会修道士）

16：10 休憩

16：15 宗教者の応答～祈りと実践にむけて～
・力久道臣（善隣教教主）
・館野庸子（解脱会青年本部事務局次長）
・吉尾天声（真宗大谷派護法山浄玄寺住職／臨床宗教師）

フロアディスカッション

16：55 閉会挨拶 澤田晃成（立正佼成会総務部長）
平和の祈り

17：00 閉会



登録用QRコード

URLまたはQRコードより、Zoomミーティング登録フォームへアクセス
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMlf-6rqDkqHdDyoYw6T4K8-CAivSqUpK8G>



問合せ

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会 有路、伊藤、植田
〒166-0012 東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター 3F

TEL: 03 3384 2337 FAX: 03 3383 7993 /E mail: rfpj-info@wcrp.or.jp